

GORE® リメディア® 触媒フィルターバッグ 都市ゴミ焼却炉

課題

日本では廃棄物焼却場に2002年からダイオキシンの新規制が施行されるため、本施設では1999年に粉末活性炭吸着法(PAC)を導入した。しかし飛灰のダイオキシン濃度が上昇してしまった。

施設名: 芦辺町クリーンセンター

所在地: 長崎県芦辺町

ソリューション

設備工程の概要: ストーカ炉—ガス冷却室—熱交換器—バッグフィルター煙突
ライン数: 2 (バッグフィルタは1)

ゴア® リメディア® 触媒フィルターバッグ使用ライン数: 2

ゴア® リメディア® 触媒フィルターバッグ導入日: 2000年6月

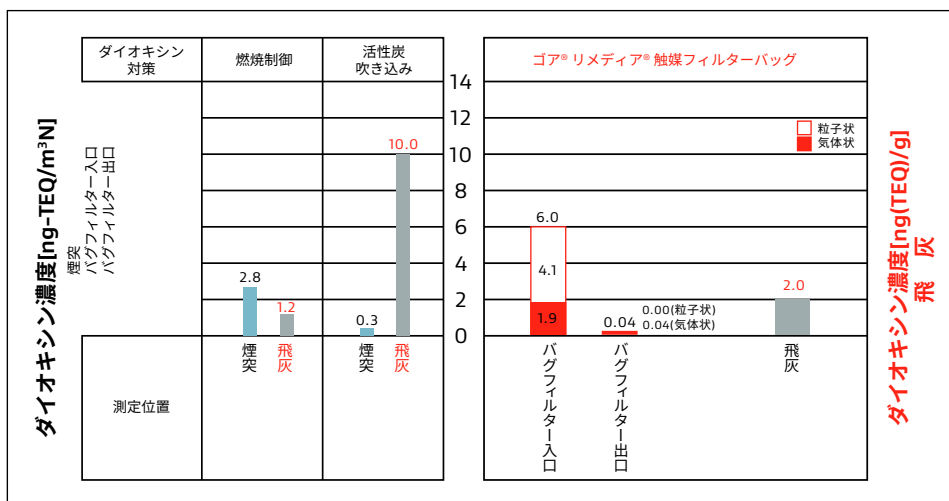
結果

活性炭使用時に比べて、排出量及び飛灰のダイオキシン濃度は共に減少した。排出量は立ち上げ、通常、立ち下げ運転全ての運転状態で、安定して低い濃度を実現した。



データ

処理能力	17t/日 (8.5t/8h×2ライン)
処理風量	20,000m³N/hr (Wet)
バッグフィルタ内温度	190—210°C
ろ過面積	504m²



本製品は、一般工業用途に限定してご使用ください。食品、医薬品、化粧品または医療機器の製造、加工、包装工程にはご使用いただけません。

記載された技術情報および推奨事項は全て、ゴアにおける過去の経験または試験結果に基づくものです。可能な限り正確な情報を記載していますが、法的責任を伴うものではありません。製品の動作性能は、運転データが全てそろわない限り判断できないため、お客様の実際のご使用状況において適合性と機能性をご確認ください。上記情報は変更されることがあり、仕様書として使用することはできません。ゴア製品の売買には、ゴアの販売条件が適用されます。

GORE、ゴア、Together, improving life、リメディア、および記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associatesの商標です。

© 2011-2023 W. L. Gore & Associates GmbH © 2011-2023 日本ゴア合同会社

日本ゴア合同会社

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 14F

TEL: 03-6746-2570 FAX: 03-6746-2571

gore.co.jp/remedia

